

デジタルツインで国府発掘がよみがえる！

生涯学習・芸術文化課
デジタル政策課

資料 3

令和5年度に本興寺境内で実施した越前国府発掘調査で平安時代の遺構が検出されたが、遺構保護の観点から、埋め戻しているため、**遺構を見ることができない**。



デジタルツイン技術で遺跡を再現

協力：国立研究開発法人産業技術総合研究所

【ARでいつでも体感】 5/14から体験可能

調査地に設置した二次元コードからのアクセスにより、発掘当時の状況をいつでも体験可能

スマートフォンで遺構の画像を見ることができ、画面をタップすることで、遺構や遺物の詳しい情報が得られる。

【VRでどこでも体感】

VRゴーグルを使い、あたかも遺跡の中にいるような体験が、現場以外での体験可能

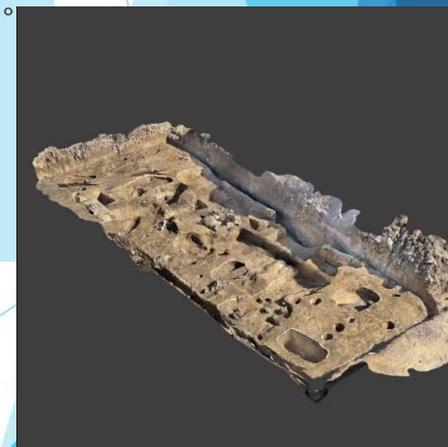
リモコン操作で遺跡内をタップすることで、詳しい情報が得られる。

【今後の展開】

- ・ イベント等においてARやVRを利用して調査成果の公開や発掘調査のPRを行う。
- ・ 大河ドラマ館～発掘現場～公会堂記念館と観光客が流れる仕組みになる。
- ・ 遺跡に触れる機会が増すことで、本市の歴史を知るきっかけとする。



AR二次元コード
推奨端末：Android
(デモのため、現在地にモデルが表示されます)



VR画像